

株式会社奥谷金網製作所

日本一の金網パンチング技術

株式会社奥谷金網製作所は、パンチングメタルや各種工業用金網、フィルター等の製造・販売を行っている企業です。創業は1985年（明治28年）。本社は神戸に置き、設立当初は家庭向けに手作りでふるいや網戸、柄杓などを製造し、港と製造業で成り立つ神戸の一角を支えてきました。

現在はパンチングメタルを作っている企業の中で、わが国全体の3割のシェアを占めています。その中でも、従来のパンチングメタルの課題であった一定期間の使用に伴う摩擦に耐える「スーパーパンチングメタル」の開発は、世界最高の技術として注目を浴びています。

※パンチングメタル・金属等の板をパンチングプレス
の金型で穴を開けた加工をした板。機械や装置カバー、
エアフィルター、排気マフラー等様々に利用される。



【ショールームで奥谷社長からお話をきく】

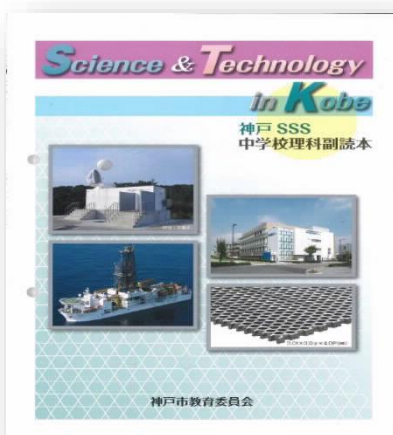
世界進出とメイドインジャパンへのこだわり

奥谷金網製作所は、現在ドイツ、アメリカの2カ国にも事務所を構えています。この2カ国はあくまでも窓口で、アジアで展示会を開くなどの世界進出を行っています。製造に関しては賃金の安いアジア地域で作るのではなく、メイドインジャパンを掲げています。

理科の副読本に掲載

2015年4月から、神戸市教育委員会の理科の副読本にも、奥谷金網製作所が紹介されています。同書は神戸のものづくりや科学技術の一端を紹介するものです。奥谷智彦社長は「子供たちが理科に興味を持ってもらうきっかけとする目的もある」とおっしゃっていました。神戸市を代表する製造業の企業の一つとして、教育という観点からも地域に貢献しています。

（大黒涼平、上西凌央、木俣澄香）



社員の意識を作る

ひとりひとりの意識が作る安全な職場

奥谷金網製作所がこだわっている点に「安全面への意識」があります。社員の方たちは、工場内を移動する際には、赤い色の動線を示すシートの上を通ります。打ち抜く前の鉄板にはコーナーガードがつけられており、服や体が傷つけられないような工夫もされています。このような安全な環境がしっかりと確保されているため、明石工場では製造業としては珍しく、夏場の半袖での作業が可能になっています。



このような仕組みができているのは、社員ひとりひとりの安全に対する意識ができているからと言われていました。

5 s + 習慣を徹底する

工場での毎朝の朝礼の際には、社員が「目指せ、業界、世界一の、技術力、we are punching man、ご安全に！」という掛け声を行っています。また、工場では5 s（整理、整頓、清潔、しつけ、清掃）という取り組みに力を入れており、それを習慣づけることによって安全な工場につないでいます。毎週一度は、社員が交代で務める安全委員会のメンバーが、工場内をパトロールしながら目標達成できているかをチェックしています。

第三者の目を入れる

今回、私たちの訪問を受けた理由の一つに、「第三者からの視点を入れる」という目的があると、奥谷社長は話しておられました。外からの視線を向けられていることを社員が意識することで、仕事に対する意識の向上や、仕事のマンネリ化を防ぐことにつながりたいとのことでした。



【明石工場の前で社員の方々と学生が一緒に】

（新春佳、住野由樹、荒岡慎之介）

時代にあわせた職場に

男女が働きやすい職場づくり

奥谷金網製作所は2018年、神戸市の「こうべ男女いきいき事業所」に選ばれており、男性が多く女性が少ない業界において、女性の活躍支援の取り組みに力を入れています。

例えば、女性社員が全体の3分の1を占めており、女性が働きやすい環境になっています。特に育児休業中の女性社員は、月に1回上司と直接面談を行うことで会社の近況報告を知ることができるようになっており、職場復帰時にしんどい思いをしないようにしています。



【女性社員の方と女子学生】

また、上司との相談で時短や育休の延長などの話がしやすいように配慮されており、**自分の時間がとりやすく多様な働き方ができる会社**をめざしているそうです。実際に、女性社員の方からは、「**アットホームな雰囲気**で**働きやすい会社**」であるとお話をいただきました。社員が63名なので、社員一人ひとりが社長と直接話す機会があり、社員の意見が上層部に伝わりやすく現場改善が行われやすくなっています。

社員のコミュニケーション

また、年に一回、全社員対象の社員旅行を行っています。その参加率は約98%と高く、新入社員が出し物を行い、企画に社員の意見も取り入れられるため、部署横断的な社内コミュニケーションの場として重要な役割を果たしています。

健康増進とイノベーション

奥谷金網製作所では、2018年に兵庫県の「健康づくりチャレンジ企業」に登録し、健康を意識した職場づくりも進めています。奥谷社長自身も、社長が社長であるために一番気をつけていることは、健康だとか。また、「時代にあわせた職場づくり」を重視しており、日々忙しいので業務に流されてマンネリ化しないよう、常に陳腐化していくことを念頭におき、ちょっとずつちがうことにチャレンジするイノベーションを心がけているそうです。

(藤崎光里・佐々木大介・増井絵美・吉本柊貴)

充実！人材養成・研修！

入社前研修・新入社員研修

入社前研修では、ディベートなどの難しい課題に取り組みます。新入社員研修では、社会人としての基本として、社会人と学生の違い、プロ意識、挨拶、ビジネスマナーなどについて学びます。

中堅社員研修 昨年（2018年）のテーマは「プロのこだわり」。行動力・準備力・段取り力・継続力などに取り組みました。

介護研修 介護について、超高齢社会・ライフスタイルなどの現代社会の背景を含めて学びます。

配送 Gr 研修 明石便・神戸大阪便・姫路便と会社のトラック3便に乗り勉強します。直接取引先にお伺いする場合があります。



いきいき働ける環境づくり！女性の活躍！



女性社員たちがしっかりと意見

を言える場として、女性全体事務会議があります。各部署からの問題点・疑問点の話し合い、アドバイスなど真面目な話から、最後にはフリートーク時間もあり、テーマにあわせて自由に話すのも楽しみの一つになっています。

また、女性たちが職場でいきいきと働ける環境づくりの一環で、2019年10月には2名のフィリピン人女性が加わることもあり、明石工場での女性の更衣室の改装工事が始まっています。

気になる！奥谷の採用！

社長と社員の距離がとても近く、社員の方々が率直に生き生きとトップと話をされていること、同時に製造業としての品質と安全への厳しいこだわり、さらに女性社員の活躍支援や学校教育への貢献など時代の先を見た取り組みが印象に残った訪問でした。

営業職は、神戸本社・姫路営業所・東京営業所の3拠点、エンジニア・製造部門は明石工場と堺工場の2拠点があります。営業職の場合、チームプレイのため、協調性が求められます。自分から進んで取り組む姿勢のある若手社員を、積極的に採用しているそうです。

（五百井雄貴、住田福松、白井聡一郎、早見竜）

神戸学院大学現代社会学部清原桂子ゼミ